

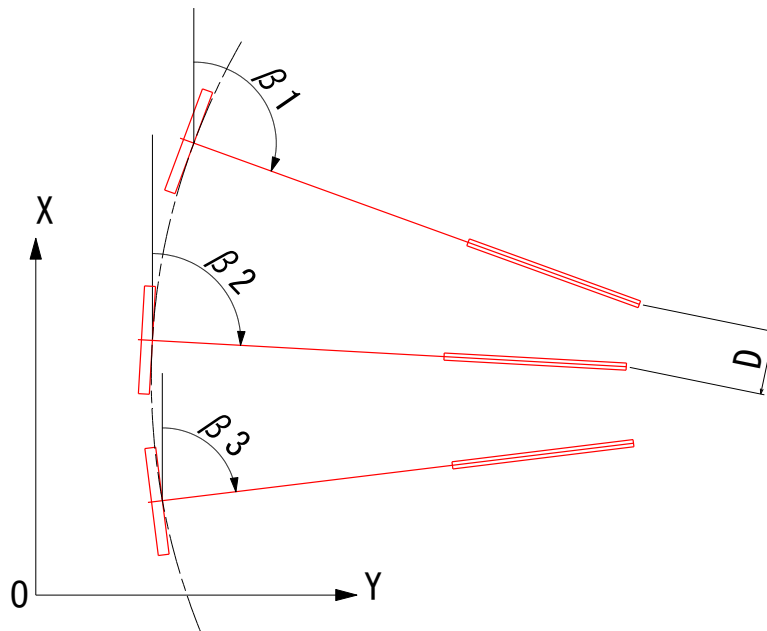
アンカー同士の離れ計算 (2)

隣接するアンカー同士の先端離れ計算

当計算書は、隣接するアンカー先端の離隔を計算して求めるものである。

なお、隣接するアンカーの先端同士ではなくアンカー体の途中に近接する場合は、“アンカー同士の離れ計算(1)”を利用すること。

また、アンカー同士が平面的に交差する場合は、“アンカー同士の離れ計算(3)”を利用すること。



アンカー工先端の離れ計算

アンカー工の先端離れ計算表

アンカー NO	アンカー頭部座標			アンカー長 L(m)	アンカー 傾角 $\alpha(^{\circ})$	方向角 $\beta(^{\circ})$	アンカー先端座標			アンカー 先端離れ D (m)
	X座標 Xa (m)	Y座標 Ya (m)	Z座標 Za (m)				X座標 Xb (m)	Y座標 Yb (m)	Z座標 Zb (m)	
A-1	0.000	1.000	20.000	12.00	-30.0	100.00	-2.084	12.818	14.000	-
A-2	-3.000	0.000	20.500	12.00	-30.0	92.00	-3.419	11.993	14.500	1.647
A-3	-6.000	1.000	21.000	12.00	-30.0	85.00	-4.954	12.954	15.000	1.879
A-4	-9.000	1.500	21.500	12.00	-30.0	78.00	-6.505	13.238	15.500	1.654

※ 当計算について

- 隣接するアンカーの先端座標を計算し、離隔を求めます。
- 座標系は 測量座標系とする。座標原点は任意座標系、公共座標系どちらでもよい。
- アンカーの傾角 α は、水平面より下向きを マイナス(-)とする。
- アンカーの方向角 β は、X軸(真北方向)から時計回りで入力する。(0 $\leq\beta$ < 360)

